

## 令和5年度 広島市まちづくり市民交流プラザ 第3回運営委員会 会議録

日 時 令和6年2月29日(木) 14時00分～16時00分

場 所 合人社ウェンディひと・まちプラザ（まちづくり市民交流プラザ）

北棟6階 マルチメディア実習室

出席者 （委 員）脇谷委員長、阿部副委員長、服部委員、木谷委員

（プラザ）横町館長、石山主任

### 議事及び会議要旨

#### 議事1 モニタリングアンケート結果について

**事務局から、まちづくり市民交流プラザアンケート集計結果（資料1）について報告し、意見が交わされた。**

- ・サービス内容などの満足度（職員の態度と清掃）は、82.5%となっています。
  - ・60歳代以上が58.0%と半数以上、お住まいの地区は中区、西区、安佐南区が多いです。
  - ・主な意見として予約が取りにくい（4件）洋式トイレを増やしてほしい（5件）があります。
- 作業室について、スタッフが丁寧に対応していただいているが、満足度が29.3%と他項目と比較したときに、満足度が低いのはどうしてでしょうか。
- ・作業室を利用したことがない方は未記入・分からないに含まれるため、未記入等を除く満足度は72.1%となり、他項目と比較しても下回ることはないです。
- 公民館は、木・金曜日のみ21時まで利用可能と利用時間に制約がある。一方、プラザ作業室は開館時間（22時まで）と公民館と比較して利用しやすいです。
- 「洋式トイレは各階にあります」という表示が、南棟、北棟の入り口にあると利用者に分かりやすいです。
- 暖房便座の設置について、他の公共施設でも未設置の施設が多いと感じます。
- ゆったりトイレに「ウォッシュレット、暖房便座があります。」という表示があると、利用者にとって使いやすい。広島市はトイレ表示にユニバーサルデザインが使用されていますか。
- ・トイレにある機能（ウォッシュレット、暖房便座）の表示については、分かりやすい表示を検討していきます。
- 地域福祉センターは暖房便座になっていない、総合福祉センターは暖房便座になっています。
- 男女ともに使いやすいトイレとなっており、子どもたちの利用もあり好評です。
- 予約について、一般の方より早く予約ができる優先予約はありますか。
- ・プラザの指定管理事業を行う、国・地方公共団体またはこれらの外郭団体が主催する全市的な事業、広域的（中国ブロック以上）な組織で構成される団体が準備や広報等を要さなければ実施が困難であるものが優先予約となります。

○プラザの有料部屋の予約方法については、電話予約・来館予約・ネット予約で対応しています。他施設では来館で対応する際、施設前に予約希望の方の列ができることがあります。

南棟1階ロビー展示スペースの利用希望が多いと聞いたが、申込が殺到すると困るのではないのでしょうか。

・現在のところ、申込が殺到して困ることは聞いていません。

○人材バンクの代表として参加している立場でお話しします。人材バンク登録者であることのメリットについて検討いただきたいです。

## 議事2 令和5年度事業進捗状況について

**事務局から、令和5年12月から令和6年2月に実施した事業（パワーポイント資料のとおり）について報告し、意見が交わされた。**

・令和5年度広島市まちづくり市民交流プラザ運営委員会（第3回）パワーポイント資料のとおり事務局から説明しました。

（人材バンク発表会、企業等社会貢献活動推進事業、なかちゃん音楽の輪まちかどコンサート、市民活動団体運営支援講座、PCボランティアスキルアップ講座、市民活動人材育成講座、市民活動・ボランティア体験講座）

○「市民活動・ボランティア体験講座」について、社会全体として助けられる人でありたいですね。

○手話言語法が2006年に制定されてしばらく年月が経ちますが、プラザ事業においても取り入れていくことは考えていないのでしょうか。

・手話通訳派遣委員会での派遣を行っているが有料になります。各区ボランティアまつりでは、手話ボランティアに無料で依頼しています。視聴覚障がいをお持ちの方が、行事で手話通訳を希望される際は無料になる行事もあります。

・手話の番組が盛んにメディアでも放送されているが、文字よりも手話の言語を使用した方が、会話がしやすい方もいます。

○令和6年度「市民活動・ボランティア体験講座」では、聴覚障がいの方の理解を深めることに講座を開催することを考えてはどうでしょうか。聴覚障がいの方は、手話通訳ができない方もいるので、手話と要約筆記をセットで考えてはどうでしょうか。（県市主催行事で社協からボランティア団体「折り鶴」へ依頼することがあります。）

○パソコン入力したことが画面に出るがタイムラグがある。話したことを瞬時に変換するシステム（AI）を学生と協働研究し、導入しているところがあります。

○区役所主催「市民のための防災フェア」は、手話と要約筆記対応で行事を実施していました。

・手話が日常になっているのですね。

○「やさしい日本語教室」を開催し、日本語が分かりにくい方へ日本語を伝える技術を提供しています。外国の方のみならず高齢者の方に対して助けることができる、社会全体が暮らしやすい社会でありたいです。

### 議事3 令和6年度事業計画について

事務局から、令和6年度事業計画（資料2）について報告し、意見が交わされた。

○公民館とプラザの連携についてお聞かせ願いたいです。

○公民館とプラザの使い分けについて迷っているところがあります。

○ボランティアとして自分のスキルを試すことができる等、プラザがどのような目的で運営をしているのかを知りたいです。

運営委員への女性の方の加入を促す際、運営委員への声かけする際、参考にしたいと思います。

・ひと・まちネットワーク部は、プラザ他青少年施設、公民館等があります。他施設と同様な事業を実施しているが、連携についてできていない部分が課題であるので、連携事業を増やしていきたいです。

・プラザは、市民活動・生涯学習を支援する施設であり、団体を支援する施設であります。

個人の利用を想定していません。有料施設、フリースペースは団体で使用していただいています。

○アジア大会をきっかけに当時、20万人ボランティア構想が提唱され、市民活動・ボランティアを広げていきたいという思いがプラザ設立のきっかけとなっています。

○自分の時間を使い無償で取組むボランティアを行う方が減っている。PTA活動、町内会活動を行う方が減っている。自分のことが精いっぱい、地域活動に関わる人が減っています。

・コロナ禍で地域活動がなかった時期を経て、コロナ5類になりいざ地域行事を運営する際、活動方法を見失っています。

○ボランティア活動を行いたい方が人材バンクに登録して活動しています。

○「魅力あるまちづくり」に向けて、行事を動かしたい、人を支えたい気持ちが大切です。

人が繋ぎ合える事業を実施し、新しいアイデアを取り入れるしかけを事業に取り込んでいただきたいです。

○若い方が起業したい方が増えてきている中で、そのような支援する機会も大切にしたいです。

○コロナ前のように、人が集まって会合を行うことが難しくなっているように感じます。

○新年度第1回運営委員会で、運営委員会出席者以外のプラザ職員を紹介する機会を作ってほしいです。

○財団内施設との連携事業実施について、人材バンク登録者が公民館依頼を受けて、人材バンクが公民館へ出向く機会「おでかけ人材バンク」を増やしていきたいです。

コロナ5類になり、公民館を拠点とした高齢者が出かける機会が増えてきているので、人材バンクの活用を増やし地域を活性化していきたいです。

### 議事4 その他

・令和5年12月の「令和5年度まちづくり市民交流フェスタ 収支報告」の収支差引金額2円は、「令和6年能登半島地震災害義援金」へ募金することで了承いただきました。

・「令和6年度まちづくり市民交流フェスタ実行委員会」開催日を、例年開催年度の第1回運営委員会において決定していましたが、フェスタに向けての早めの準備を行う為、第3回運営委員会でフェスタ実行委員会開催日の協議をお願いします。

- ・実行委員会開催日（案） 令和6年 8月22日（木）【第1回実行委員会】  
令和6年10月10日（木）【第2回実行委員会】

○第1回、第2回の実行委員会は、異なる曜日の開催日が参加しやすいのではないかと思います。

・プラザの職員の都合で、木曜日が職員全員出勤日となっていることから、開催日（案）を提示させていただきました。

○実行委員会に参加される方の都合が最優先なので、開催日（案）で支障がないのであれば案のとおり決定してはどうでしょうか。

・第3回運営委員会において、案のとおり「令和6年度まちづくり市民交流フェスタ実行委員会」の開催日を決定させていただきます。

【令和6年度第1回運営委員会】

令和6年6月～7月開催予定

閉会